

会 員 殿

大阪府中央区伏見町 2-4-6
関 西 医 薬 品 協 会

核酸医薬品の動向と課題に関する講演会の開催について

核酸医薬は従来型の医薬品とは異なり、特定の遺伝子の発現を細胞内で抑制できることから、これまでは治療困難であった疾患に対する革新的な医薬品の創出につながることが期待されています。

近年は多くの製薬企業が核酸医薬の研究開発を開始していることなど、業界内での関心が高いことから、今般、大阪大学薬学研究科の小比賀 聡先生、株式会社ジーンデザインの南海 浩一先生をお招きして標記の講演会を開催することになりました。

つきましては、本講演会への参加希望の方は、1月25日（金）までに関西医薬品協会ホームページ上（<http://www.kpia.jp>）の「講演会等受付システム」よりお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

記

日 時：2019年1月29日（火）14時30分～17時

会 場：大阪商工会議所 6階白鳳の間
大阪府中央区本町橋2-8 TEL 06-6944-6268

参加費： 無料

【講演会プログラム】

14時30分～14時35分 挨拶 関西医薬品協会

14時35分～15時35分 「核酸医薬品の開発動向と我々の取り組み」
大阪大学薬学研究科
生物有機化学分野教授 小比賀 聡 氏

15時35分～16時20分 「オリゴ核酸製造の概要と分析の実例」
株式会社 ジーンデザイン
研究開発部 部長 南海 浩一 氏

16時20分～17時00分 質疑応答

【会場アクセス】大阪商工会議所

